

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2010年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項によって実施する。

2 練習場及び使用時間について

練習場は補助競技場を主とするが、日時・天候により主競技場、雨天走路が使用できる。
詳細は別紙一覧表を参照のこと。

3 招集について(小学生リレー大会を含む)

(1)招集場所はメインスタンド下100mスタート横付近に設ける(案内図参照)。

(2)招集時間は競技開始時間を基準として下表の通りとする。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
跳 躍 競 技	走幅跳 三段跳 走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	90分前	80分前
投 擲 競 技	砲丸投	40分前	30分前
	円盤投 ハンマー投 やり投	50分前	40分前

(3)ビデオ、ラジオ、CD、MD、トランシーバー、携帯電話、もしくは類似の機器等は競技場内に持ちこみできない。

(4)招集は本人が行い、代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に他種目に出場する場合は、先行種目の招集時に同時招集点呼を認める。同時2種目出場届用紙を提出すること。

(5)招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとして取り扱う。

(6)リレー競技のオーダー用紙は、各ラウンド招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

(7)出場種目を欠場する場合は、招集完了時刻までに招集所審判長まで所定の用紙で届け出ること。

※(4)～(7)で提出する用紙等は、受付に用意してある。

4 ナンバーカードについて(小学生リレー大会を含む)

(1)支給されたナンバーカードを胸、背にそのままの大きさで確実に取り付ける。ただし、走高跳、棒高跳は胸または背のみでもよい。

(2)トラック競技に出場する競技者(リレー種目は第4走者のみ)には写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配布するので、ランニングパンツの右側やや後方に1枚、競歩競技者は左右それぞれ1枚ずつを取り付ける。

※ナンバーカード、腰ナンバー標識ともに回収はしないので、競技終了後は各自処理すること。

5 競技場への入退場について

(1)入場は、招集所から係員の誘導により競技場所まで移動する場合と、指示により各自で移動する場合がある。

(2)退場は次の分類に従い移動する。

①トラック競技では、フィニッシュ地点から係員の指示に従い第1ゲートから退場する。

(4×100mRの第1～3走者は係員の指示に従い退場する)

②フィールド競技では、3位までの入賞者以外の競技者は係員の指示に従い、最寄りのゲートから退場する。

③全競技3位までの入賞者は係員の指示に従い玄関ホール被表彰者待機所に集合する。

6 荷物運搬について

トラック競技出場者の荷物は、スタート後フィニッシュ付近の荷物置場まで運搬する(4×100mR

の第1～3走者の荷物は運搬しないので、各チームで取りに行くこと。

7 競技について

(1)トラック競技

- ①レーンで行う種目は、欠場者のレーンはそのまま空ける。
- ②短距離種目は衝突防止のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走りぬけること。
- ③リレー競技に出場するチームは、同一・同色のユニフォームを着用すること。
- ④4×100mRの第2～4走者はマーカーを1ヶ所置くことができる。レース後は各チーム責任をもって回収すること。
- ⑤男子5000mWはスタート後30分、女子5000mWはスタート後35分でレースを打ち切る。ただし、最終周回にある競技者はこの限りにない。
- ⑥予選がある種目の決勝進出者はアナウンス及び記録掲示板での掲示によって発表する。

(2)フィールド競技

- ①跳躍、やり投の競技者には主催者が用意する助走マークを2ヶ所、サークルを使用する投擲種目にはサークル周辺に同様のマークを1ヶ所置くことができる(サークル周辺に置くマークは各試技終了後速やかに撤去すること)。
- ②三段跳の踏切板は、男子13m、女子10mで行う。
- ③棒高跳の競技者は、競技前に希望する支柱の位置を競技開始60分前までに、競技場所で競技役員に申告すること(支柱位置申請書は受付に用意してある)。
- ④走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。ただし天候の状況により審判長の判断で変更することがある。

種目	練習A・練習B	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m75・2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	以後3cm
男子棒高跳	4m20・4m50	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後10cm
女子走高跳	1m45・1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後3cm
女子棒高跳	2m30・3m00	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	以後10cm

※練習はA・Bいずれか希望の高さで行う。第1位決定の際の上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

8 競技用具について

- (1)競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用することを原則とするが、希望者は砲丸、やり、円盤、ハンマーに限り、競技開始1時間30分～1時間前までに検査を受けて合格した用具のみ、一括借り上げて参加競技者で共有使用できるものとする(検査所はトラックのフィニッシュ地点前方器具庫前とする)。
- (2)棒高跳用ポールについては、競技開始前に検査を受け、許可されたものでなければならない。
- (3)スパイクの長さは、走高跳とやり投は12mm、他の種目は9mmを超えてはならない。

9 抗議について

- (1)競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、結果の正式発表後30分以内に、本人または代理人から審判長に対して口頭で行う。ただし、受付は担当総務員が行う。次のラウンドが行われる競技では、正式発表から15分以内に申告がない場合は何ら問題がなかったものとみなす。
- (2)審判長の裁定に不服がある場合は、上訴審判員に預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は抗議が却下された場合は返却しない。上訴申立書は担当総務員が用意する。

10 表彰について

- (1)各種目1～3位には賞状・メダルを、4～8位には賞状を授与する。

(2)表彰式は1～3位入賞者に対して行うので、競技終了後、係員の誘導で被表彰者待機所に集合すること。

(3)4～8位入賞者は成績発表後、玄関ホール奥の被表彰者待機所まで賞状を受け取りに来ること。

11 第95回日本陸上競技選手権大会申し込みについて

日本陸上競技連盟発行の大会要項に基づき申し込むこと(2011年度)。

12 東海小学生リレーについて

大会要項に従い実施し、リレー競技に出場しない競技者については100mオープン競走に出場することができる。

13 その他一般注意事項

(1)商標について

IAAFの規定により、下記の通り規制する。

①上半身の衣類 … 製造会社ロゴの面積は30cm²以内、文字縦4cm以内、全体5cm以内で、1ヶ所であること。

②下半身の衣類 … 製造会社ロゴの面積は20cm²以内、文字縦4cm以内(全体含む)で1ヶ所であること。

③バッグ … 製造会社ロゴの面積25cm²以内で2ヶ所(同一であること)以内であること。

(2)写真及びビデオ撮影について

撮影禁止エリア(メインスタンド両端下部)を設定する。また、競技者への影響を考慮し、撮影の中止を指示することがある。

(3)棒高跳用ポールの返送について

棒高跳用ポールの返送は陸上競技場管理事務室が受け付ける。返送希望者はその旨申し出て、指示に従うこと。

(4)個人情報の取り扱いについて

本大会の申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営と成績の報道発表及びホームページ掲載に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記録等の掲載権は主催者に属する。

(5)大会期間中に競技場で発生した傷害は疾病は医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

(6)その他

①出場選手の更衣室の利用は、脱衣・更衣・シャワーの使用のみに限定し、休憩目的の使用は禁止する。

②貴重品は各自で保管すること。主催者は紛失等の責任を負わない。

③ドリンクの空ボトル、弁当容器など、各自で出したゴミは置き去ることなく各自の責任で持ち帰り、環境美化に努めること。

④競技場内のチーム応援横断幕については、スタンド・芝生席とも最前列手摺部分への設置を禁止する。また、のぼり旗の設置は芝生席最上部のみとする。